

＜地域の多様な家族が孤立しないために私たちができること＞



ひきこもりと家族

～地域からみる 生活困窮者自立支援制度の可能性～

ゲストスピーカー：

横浜市青少年相談センター
明治学院大学社会学部教授

かのつ

鹿角 浩美さん
新保 美香さん

地域には多様な家族が暮らしを営んでいます。
家族の誰かがひきこもってしまったら家族はどうしたらいいのか...
近くの者はどう寄り添えるとよいのか...
孤立することなく、その人らしく生きられる地域社会であるために私たちができることは？
新しい制度についても学びながら考えたいと思います。

◆生活困窮者 自立支援制度とは？

「働きたくても仕事がない、家族の介護のために仕事ができない、再就職に失敗して雇用保険が切れた、あるいは、社会に出るのが怖くなった...。さまざまな困難の中で生活に困窮している人に包括的な支援を行う制度として、平成27（2015）年から始まりました。」（政府広報オンラインより）

日時：

2016年 12月 7日(水)
18:30～20:30

会場：明治学院大学白金キャンパス
本館1254教室
(最寄駅：白金高輪駅・白金台駅・高輪台駅)

対象：多様な家族への理解を深めたい方
その支援に関心ある方

定員：30名(先着順)

保育サービス：1歳以上(先着順)締切11月30日(水)

＜申込先・詳細＞

明治学院大学社会学部附属研究所

TEL&FAX 03-5421-5205

Eメール issw@soc.meijigakuin.ac.jp

〒108-8636 港区白金台1-2-37

広報協力：港区生活福祉調整課

地域創り担い手学習会

は、社会的孤立を生まない地域をめざし実践するみなさんの学びの場として、また、つながりを広げる場として開催します。
ゲストスピーカーからのお話を共有後、参加者間の対話の時間も大切にしたいです。
分野やお立場・世代等をこえて対話し、生み出されるものがあつたら嬉しいですね。お気軽にご参加ください！

第3回2月22日（水）18:30-20:30

「介護か仕事か～苦悩する介護者への支援を先駆者から学ぶ～」

ゲストスピーカー：

NPO法人介護者サポートネットワークセンター・アラジン代表 牧野史子さん